

病院機能評価更新受審を終えて

医療法人 松和会 門司松ヶ江病院 看護課長 末廣正子

門司松ヶ江病院の概要

当院は、昭和三十六年門司市初の精神病院として開設し、本年度創立四十七年となります。

開設当初から開放療法を行ない、精神障害者のノーマライゼーションに着手して取り組んでいます。

外来部門は、精神科にかかわる領域全般の診療をしています。特に専門的診療として、ものわすれ外来・認知症・アルコール依存症の治療に特化しています。また精神科デイケア・重度認知症患者デイケアを開所しリハビリ訓練・生活リズム訓練など患者様個々に合った治療・ケア等を行なっています。

入院部門では、認知症病棟・精神科療養病棟・精神科急性期病棟・精神科治療病棟（亜急性期）と機能分化し、早期の家庭・社会復帰を目指した治療に取り組んでいます。

精神障害者の社会復帰施設としては、精神障害者福祉ホーム（カーサ松ヶ江）・精神障害者グループホーム（まっぼっくり）を運営しています。

初めての病院機能評価受審を振り返り

平成十三年、病院開設四十周年を期に理事長・院長が勇退交代をしました。病院の新しいスタートとして、何ができていないのかを、第三者に評価して頂き、病院の再構築をする事を大きな目的として、平成十四年七月、財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価を受審いたしました。

初回でしたが、業者等の手を借りず、また予備審査も受けず、全てに時間をかけた手作りでの受審でしたが、一度で認定を得ました。

初回認定から五年が経過、医療制度改定に伴い、診療報酬・看護配置基準の改定と、病院内外共に厳しい年度の中、平成十九年八月に認定更新受審を受けました。現在一度で認定を取得する事が困難と言われていますが、無事に一度で認定していただくことができました。この機会に受審までの経過を振り返り、今回の受審結果について掲載し、今後につ

いて考えてみたいと思います。

更新受審にあたって

初回の受審以降、毎年継続していた、院内独自のピアレビュー委員会を病院機能向上推進委員会と改名し、機能させる事にしました。

まずは、当院の基本理念・病院の基本方針を念頭に目標を明確にする事にしました。

【治療の理念（基本理念）】

精神障害という理解されがたい病気で悩んでいる人達との心のふれあいを通じて、その純粋な心ひたむきな努力を受けとめ、「自由と尊厳と生産性の回復」に、全職員あげて精いっぱい援助をし、病院の門を社会に大きく開いて奉仕いたします。

【病院の基本方針】

- 一、地域や周辺医療機関との連携を充実します。
- 二、ストレス性精神障害の治療、特にアルコール依存症の治療を充実します。
- 三、ものわすれ外来を含めた総合的

な認知症への対応を充実します。

四、患者の権利を守り、患者中心の医療を推進します。

五、患者情報を共有し、チームで医療に取り組めます。

六、職員の意識・技術向上のための研修に取り組みます。

【目標】

地域社会の要望に応えられるよう良質な医療を提供します。

患者の権利・倫理に関する事

医療安全管理・院内感染防止対策
患者情報の一元化・記録の見直し
専門的視点でのチーム医療

組織内の各種委員会の位置付けや規程の見直しを実施し、目的を明確にしました。

毎月定期開催する委員会とその都度必要時に開催する委員会、年に数回実施する委員会とを区別しました。委員会ごとに担当を決め、議事録を残すようにしました。必要事項は各部署にコピーを配付し、職員が見られるように、回覧などの工夫をしました。

また当院独自の幹部連絡事項（各部署に日々の連絡・入退院等の患者情報などを記載した書面）に、事故・ヒヤリハット報告、月間の事故発生一覧表、院内感染報告、感染データ一覧表、苦情・クレームの改善報告



門司松ヶ江病院の全景

等を掲載し各部署に毎日配付しました。

この迅速な情報共有により、院内の問題点や改善策などが明確になり、組織内の事が理解しやすくなり、活性化にも繋がったと思います。また各職場の問題として捉え、考えようとする基礎が芽生えたのではないかと考えています。

今後の課題

一、記録の改善

記録の改善に関しては、医師を中心に、領域を超えて取り組んできましたが、未完成の課題も多く残っています。現在医療の質の向上を目指

し、医療チーム全体で継続し改善しています。

二、中間管理職の教育と組織内での支援

病院内の方針や改善点などを認識させ、具体的な改善案を企画する事で個人の置かれている役割を明確にする

病棟管理者を病院機能向上推進責任者会議のメンバーに加え指導する

メンバーの能力が発揮できるように精神的支援をする

組織内での教育は、毎月の職員研修、専門的知識を学ぶゼミ、各課の研修、医療専門研修、心に残る講演会（年に一回）と特に力を注いでいる階層別研修を更に充実させます。

更新受審を終えて

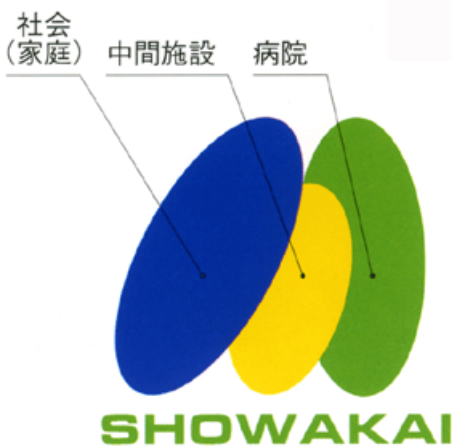
病院機能評価更新受審を機会に、個々の管理者が最大限能力を発揮し、考える医療、改善する機能を養う事ができたと思います。また、職員個々の意見を大切に考え、病院全体で取り組むようになりしました。一年以上の経過は、長くもあり短くもありましたが、病院の方針をしっかりと理解し、日々改善する姿勢を持つ事が当たり前と思えるようになった事は、

大きな成果であったと思います。

医療制度改革ごとに、その現状は厳しく地域医療のニーズも大きく変化しています。が、いかなる時代が到来しても当院の患者さま第一の医療展開は、変わる事はありません。

今回更新受審を機会にその時々に必要な考え方や工夫、あるいは改善のできる医療チームメンバーでなければならぬと、携わった職員は、皆感じた事と思います。ロゴマークコンセプトであります。

「すべての精神障害者とその家族が治療の必要性を理解し、個々の能力を最大に発揮できる場所で、笑顔で生活できるようにしたい」という理想を追求できるよう、さらなる向上を目指し職員一丸となって努力をいたします。



財団法人 日本医療機能評価機構

審査結果 総括(抜粋)

【審査結果・総括】

貴院は地域初の精神科病院として創設され、精神科医療に求められる種々の機能を着実に整備し、確実にその役割を担って来られた。日々の診療活動は「自由と尊厳と生産性の回復」を治療理念として、救急から入院時の処遇、退院支援まで適切に対応されている。このたび病院機能評価の初回認定以来5年が経過し、認定更新の審査が行われる運びとなった。この間、認知症デイケアを開設され、増改築の際、国際基準の栄養施設を整備するなど、サービス体制の一層の充実を図って来られ

た。初回の認定以降も地域ニーズに応える取り組みが継続的になされたものと評価できる。今後もノーマライゼーションをキーワードに「精神障害者とその家族が明るく生活できるよう援助する病院」として貢献されることを期待したい。



各項目の詳細については当院ホームページをご覧ください
ホームページアドレス <http://www.matsugae.or.jp/>